

るものであります。

内訳については5ページから説明したいと思います。5ページをお願いします。

歳入ですけれども、1款1項1目医科診療報酬収入です。489万3,000円の減としております。これについては、平成24年度は水曜日の日を休みとしているという関係で、患者さんの人数も少なくなっていますので、その影響かと考えております。

それから、1款2項1目の諸検査等収入ですけれども、1節の医科の関係ですけれども、説明欄ですけれども予防接種の収入として83万5,000円、それから細節10の職場検診収入として14万8,000円ということで、いずれも当初予定したものより多く入る見込みなので、合計で98万3,000円補正しております。

次のページですけれども、4款1項1目の繰越金ですけれども、前年度繰越金、これ財源調整のため39万4,000円を減額しております。

7ページですけれども、3の歳出、1款1項1目一般管理費256万5,000円の減額です。内訳として、3節の職員手当8万5,000円を追加させていただいております。7の賃金250万2,000円の減額。これは看護師、運転士等が年度途中で退職し、欠員不補充状態になっていますので、このような減額となっております。それから、12の役務費14万8,000円は、実績見込みで不用額が生じる見込みなので減額しております。2目の歯科管理費です。8万8,000円の補正をさせてもらっています。内訳として7の賃金、これについてはですね当初、歯科衛生士1名、歯科助手2名という体制で臨もうとしたんですが、その後、歯科医師等と話し合いしながら、運営上のことを考えた場合、歯科衛生士が2名、歯科助手1名体制でいこうと、そういうことの関係で今回このような補正となっております。

それから、2款1項1目の医業費182万7,000円の減額ですけれども、内訳として需用費147万7,000円の減、それから12の役務費で35万円の減、手数料の減、それから11の方では医薬材料費の減ということで、これも実績見込みの関係でこのように減額させてもらっています。

以上です。

○議長(須藤正人君) これより議案第34号について質疑を行います。質疑ありませんか。

7番皆川鉄也君。

○7番(皆川鉄也君) 歯科の関係でちょっとお聞きしたいんですが、予算計上しているのは結構です。相手方見つかったんですか。募集しておったようなんですけれども、そこだけ教えてください。

○議長（須藤正人君） 答弁を求めます。佐々木福祉保健課長。

○福祉保健課長（佐々木充君） 今ご質問ありましたスタッフの関係、歯科衛生士2名に助手1名、それぞれ見つかりまして、皆さんにお話したように3月1日付けで採用というんですか、雇用通知しながら、現在、歯科診療所の方、整理等しております。

以上です。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。5番門脇直樹君。

○5番（門脇直樹君） 歯医者さんのことでちょっと伺います。

歯医者さんが来てくれるという時点で、診療時間を通常の9時から12時ではなく1週間に1回ぐらい、昼から夜の時間帯も、そういう時間帯で対応すればという話、提言をしたんですけど、先日、歯医者さんが挨拶に見えましたが、そういう会話も歯医者さんとの間であったんですかね。

○議長（須藤正人君） 答弁を求めます。佐々木福祉保健課長。

○福祉保健課長（佐々木充君） 診療所の開設の、開設というんですか、1週間の間にどういう日にちに診療するかとか時間、これについては、前にアンケートの中にもあった、できるだけそういうものを考慮したいということで先生とは話しながら進めました。その結果として、曜日の関係、普通、月曜日から金曜日が仕事って、普通仕事するんですけども、土曜日の日については1日やると。そのかわり、勤務時間、1週間とか1日の勤務時間との関係ありますので、まず週5日勤務だということで、火曜日から土曜日までという形にしました。あと時間帯の関係、始まり、特に終わりの時間帯なんですけれども、これは6時までやるということで先生とも話し、スタッフの方にも了解とりながら、そういう形でやりたいと思っています。

以上です。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。5番門脇直樹君。

○5番（門脇直樹君） この診療時間の時間帯を話したときは、峰浜という地域性を考えて、例えば農家の人は天候のいいときに時間忘れるぐらい暗くまで働くので、そういう夜の7時とかその辺まで、始めるのは遅くてもいいんですよ、そういう時間帯もつくればどうですかという意味で提言したんですが、何かその辺伝わってないのか生かされていないのか、歯医者さんの方に伝わってないんですかね。

○議長（須藤正人君） 佐々木福祉保健課長。

○福祉保健課長（佐々木充君） 夜間の話、アンケートの話もしてますので、正直、うち

らの段階でも夜間にやるということまでは、ちょっとうちの段階で考えてませんでした。ただ、アンケートの中にこういう要望もありましたよということでは先生の方にも話してます。ただ、現実的に真夜中、あるいはアンケートの中には、真夜中にですね急患云々ということもありましたけれども、そこいら辺まで、診療時間帯として設定することに対してはちょっとそこまで詰めた話はしていません。ただ、お医者さんそのものは診療所の2階の方に生活しますので、そこいら辺、ケース・バイ・ケースも考えるのかは、ちょっとこう実際その場なってみないと何とも言えない面があるかと思っています。

以上です。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） 診療収入の所で医科診療報酬がかなり減額になって、患者数も1,291人減少してるんですけども、まだまだ減少していくのではないかと思います。水曜日を休診してるということで、今後どういうふうな診察、診療時間になるのか、診療日になるのか分からないんですけども、このまま水曜日を休んで、お医者さんが来るかどうか分からない、別の病院の方に紹介状を書いているという状態の中で、今後成り立つのかどうなのか、その辺の見通しが立たないんですけども、まだまだ患者数が減っていった場合、今後どのようにするのでしょうか。

○議長（須藤正人君） 佐々木福祉保健課長。

○福祉保健課長（佐々木充君） 水曜日を平成24年度休みにした中では、年度始めというんですかね、秋元先生の退職、そういう関連の中で水曜日を休みにしたと私は覚えております。

それで今後のことですよ。今後のこと、今は町の方としては退職に伴う後任の医師の確保について全力を挙げているという状態なものですから、先ほどおっしゃった水曜日をどうするのかというのは、私の方としては通常、月曜日から金曜日やりたいなと思っています。もし退職後、次の医師が確保なれば、そういう形でやりたいと思っています。

あと、今後成り立つのかという形ではちょっと私の方でも検討はしてませんが、できるだけそういう事態は避けたいと思っています。

以上です。

○議長（須藤正人君） 加藤町長。

○町長（加藤和夫君） お答えをいたします。

たぶん現状の話になってくると思いますけれども、まず秋元医師の場合は定年が3月末であったんですけども1カ月延長して4月で、4月いっぱい退職と、これはそういう方向になっています。そこで今、我々は後任の医師をですね確保するために今一生懸命頑張っております。いろんな情報を集めながら、それぞれ個別に当たったケースもございますし、それから県の医師確保対策室、あるいはまた予算をとりました医事新報への掲載もしました。つい先頃、1件照会もございましたけども、いずれあらゆるルートを通じながら、あらゆる手立てを講じて今後任の確保に頑張っているというような実態でございます。もし確保されれば、当然、今回は水曜日休みというケースになっていんですけども、当然、今度水曜日含めた形での診療というのはやっていきたいなと思っております。そういう意味で、まず今必要なのは後任の確保することが第一の課題だと思っておりますので、それに全力を挙げていきたいと思っております。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） 当初3月いっぱいということでしたけれども、もう3月に入ってますし、もう4月というのももう目の前にあります。こういう状態の中で患者さんが流出しているということで、今後の経営も心配なんですけれども、万が一、空ける、空白になるということになったらどのように考え、今もう間もなく4月ですので、そういうこともあり得るのでないかと思いますが、そこら辺どのように、空白になることも前提に考えておられますか。

○議長（須藤正人君） 当局の答弁を求めます。加藤町長。

○町長（加藤和夫君） できるだけですね空白は避けたいなという気持ちで、現在、医師会の方ともですね、お互いにお願いをしながら、どういう形になるか、もしそういう間が空くとすれば、その間をですね、そういう形で応援していただけないかということで今折衝しておりますので、そういう手立ても講じながら、まず当面は全力を挙げて後任を確保するというところに頑張りたいと思っております。

○議長（須藤正人君） ほかに質疑ありませんか。3番柴田正高君。

○3番（柴田正高君） 今の医師確保についてなんですが、ネットで医師の募集している内容を私この前見たんですけども、町の職員として採用する、そうすれば1,800万円以上とかって年収書いてたんですけども、その下の方に確か委託等でもいいような内容で書かれて、その場合は双方で協議するとかというふうな形で載ってたと思っておるんです

が、そうなればですね当然中身についてというか、特別会計に持って町で直営でやるというわけには当然いかなくなっていくわけですね。業務委託するという形になれば、ハタハタの里診療所と同じような形態になるのでしょうか。そこのところね、当初から、最初はおくまでも町の直営で行うというそういう話で医師募集するというふうなお話であったと思うんですが、業務委託云々なれば当然交付税の方にも影響がくるんじゃないですか。何か診療所があることによって交付税が幾らかこう算定プラスになるというふうなお話を伺ったんですが、それに対する影響はないのか、そこら付近お聞かせください。

○議長（須藤正人君） 当局の答弁を求めます。佐々木福祉保健課長。

○福祉保健課長（佐々木充君） 今、柴田議員おっしゃったのはホームページの方、医事新報の方からも入ってきますけれども、町のホームページの方に医師募集の関係載っています。それで柴田さんの方から話あったのは、身分と、それから待遇面の話、それから嘱託のようなそういう記載の話だと思っていますけれども、町の方としては今現在の秋元医師のように職員として採用したいという前提で募集をかけました。ただ、年齢、あるいはまた逆にそのお医者さんの都合で嘱託とかそちらの方がいいよということであれば、それでも差し支えありませんと、そういう中で募集しているものです。

それから交付税の関係、これは年度末にあれですよ、町の診療所として運営というんですかね、開設すればカウントなるかと思えます。ですから先生が仮に嘱託とかであっても、それは町の診療所としてカウントはできると、そう考えております。

以上です。

○議長（須藤正人君） 休憩します。

午後 4時33分 休 憩

.....
午後 4時34分 再 開

○議長（須藤正人君） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） ほかに質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。2番見上政子さん。

○2番（見上政子さん） 私は反対いたします。

もうこの医師確保というのは、もう去年から、だいぶ前から議論されていて、もう目の前に3月、4月に入ろうとするのにまだこれが決まってない。そして患者は減っていく。診療報酬は減る。こういう当局の、この空白にならざるを得ないような事態を招いているということに対して、私はこれに反対をいたします。

○議長（須藤正人君） ほかに討論ありませんか。7番皆川鉄也君。

○7番（皆川鉄也君） 私はこれに賛成をいたします。

今ここでお願いしているのは補正予算の関係だけですから、医師が来るとか来ないとかは、私、明日一般質問出しますので、その際また町長からキッチリ答弁いただきたいと思いますので、今回は補正予算の関係ですから私は補正予算そのものには賛成をいたします。

○議長（須藤正人君） ほかに討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） ほかに討論がないようですので、これで討論を終わります。

これより議案第34号を採決します。この採決は起立で行います。本案に賛成の方は御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（須藤正人君） 起立多数です。したがって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

本日の日程は全て終了いたしました。

次回本会議は、明日3月7日木曜日午前10時より、残りの議案を審議いたします。

本日は、これにて散会いたします。ご苦労様でした。

午後 4時37分 散 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 須藤正人

同署名議員 2番 見上政子

同署名議員 3番 柴田正高

同署名議員 4番 丸山あつ子

